

サンケイメチルオイゲノールのラットにおける急性経皮毒性試験

(資料)

試験機関： 株式会社ボゾリサーチセンター
[GLP 対応]

報告書作成年：2012 年

検体の純度：80.0%メチルオイゲノール剤

供試動物： SD 系 SPF ラット、8 週齢、体重：雄 250～264 g 雌 218～228 g
一群雌雄各 5 匹

観察期間： 14 日間

投与方法： 検体の原液をそのまま背部に 24 時間塗布した。

観察・検査項目：中毒症状及び生死を 14 日間観察した。死亡動物及び試験終了時の全生存動物について適用部分を含む組織の肉眼的病理検査を行った。

結 果：

投与方法	経皮
投与量 (mg/kg)	2000
LD ₅₀ (mg/kg)	雌雄とも > 2000
死亡開始時間及び終了時間	死亡例なし
症状発現及び消失時間	発現なし
毒性徴候の認められなかった最高投与量(mg/kg)	2000
死亡例の認められなかった最高投与量 (mg/kg)	雌雄とも 2000

雌雄いずれの動物もほぼ順調な体重推移を示し、中毒症状は認められなかった。剖検所見では、主要な組織器官に特記すべき変化は認められなかった。また、投与部位の皮膚に、刺激性変化及びその他の異常は認められなかった。